

# 平成28年度 稲作ごよみ (コシヒカリ)

## 510 心でつくるあぶらんど米!



あぶらんど稲作部会協議会  
あぶらんど稲農業協同組合  
稲農林事務所農業部  
全国農業協同組合連合会山口県本部

### 収量構成の目安(目標反収520kg)

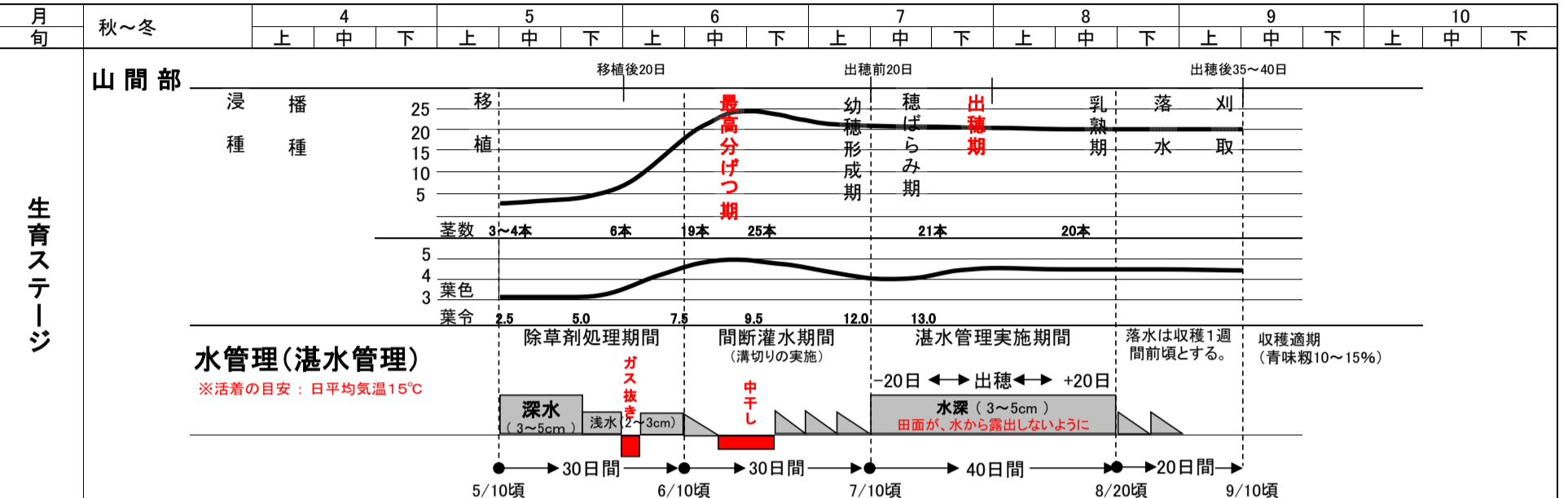
構成項目	目標数値
m <sup>2</sup> 当たり最高莖数	450本
有効茎歩合	80%
m <sup>2</sup> 当たり穂数	360本(18株×20本)
平均1穂粒数	78粒
m <sup>2</sup> 当たり全粒数	28,000粒
登熟歩合	85%
玄米千粒重	22.0g

### 売れる米づくりのポイント

- 100%種子更新
- 土づくりの取り組み
- 適切な施肥管理
- 適期播種・適期移植・適期刈取
- こまやかな水管理(湛水管理の実施)
- ふるいは1.9mmで
- 生産履歴記帳の徹底
- 農業の使用基準の遵守・飛散の防止

### 播種期・移植期の基準

地帯別	播種期	移植期
山間部	4月10日	5月10日
中間部	4月15日	5月15日
平坦部	4月20日	5月15日



### 栽培管理のポイント

- 秋耕起の励行(耕深15cmを目標)
- 堆肥1t程度・ミネラルGまたはケイカル(土づくりの励行)
- 緑肥化期(20/15/25/20℃)
- 温度・水管理に注意(徒長防止)
- うすまきの励行(1箱当たり浸漬初日)
- 代かきは丁寧に、泥水の河川流出に注意
- アオミドロ・藻類の発生に注意
- 除草剤の適期・適量・適法に注意(雑草の葉令確認)
- 本田基肥N成分で2kg/10aを目標
- ガス抜きを晴天時に2~3日程度実施する
- 間断湛水の開始(移植後30日が目安)
- 有効茎数の確保を確認
- 手溝を切り、排水を良くする
- 葉いもちに注意(早期発見早期防除)
- 出穂前18日N成分で1.5kg/10aを目標
- 出穂前40日間は湛水管理を実施(常発田)
- 葉色の確認(40程度)
- 種いもち、ウシカ類の発生に注意
- 種捕期の葉色4.5が目安
- カメムシ・ウンカ類の発生に注意
- 早期落水水を避け、刈取1週間前まで走り水
- 出穂14日前までに畦畔及び周辺の草刈を終了する(カメムシの群集防除)
- 無人へり防除が出来ない場合は補完防除については粒剤等の使用により飛散を防止
- 湛水管理のポイント
  - 出穂前後の各20日間(40日間)は、土壌表面を露出させない。
  - 強度の中干しは、避ける。
- 病害虫の注意報・警報発令時
  - 防除実施後の1週間後に、圃場の病害虫発生状況を確認。
  - 発生状況により、追加防除の実施。

### 病害虫防除ごよみ

基本型	害虫重視型
<p>● 通常体系 Dr. オリゼ プリンズ粒剤10</p> <p>適用病害虫 いもち病、もみ枯細菌病、白葉枯病、イネミズウムシ、イネトヨイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、ウンカ類、イネツトムシ、イナゴ類等</p>	<p>● 通常体系 ルーチンアドスピノGT箱粒剤</p> <p>適用病害虫 いもち病、もみ枯細菌病、白葉枯病、イネミズウムシ、イネトヨイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、ウンカ類、イネツトムシ、イナゴ類等</p> <p>● イネトヨイムシ対策 ツインターポ フェルテラ箱粒剤</p> <p>適用病害虫 いもち病、もみ枯細菌病、白葉枯病、イネミズウムシ、イネトヨイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、ウンカ類、イネツトムシ、イナゴ類等</p>

箱処理剤は基準量を遵守すること。【除草剤と間違えない】

飛来害虫の発生に注意。

### ■ 施肥設計例 (慣行型) コシヒカリ(10a当たり)

肥料名	施肥区分	耕土培養資材	基肥	種肥	肥	摘	要
ケイカル 又は ミネラルG		200					耕起前
ハワール5号 又は (苦土重焼燐)		40	(20)				耕起前 (基肥との同時施用も可能)
525 又は 燐加安444			15				根の活着・発根促進、有効茎数確保
マルチサポート2号 又は けい酸加里			20				中間施用: 出穂40~45日前頃 (基肥との同時施用も可能)
525 又は 燐加安444				10~[15]			良質米生産のため、穂肥は原則として1回【地力の低い所は、2回(1週間後に2回目)に分けて施用】

### 《省力型》 コシヒカリ(10a当たり)

肥料名	施肥区分	耕土培養資材	基肥	摘	要
ケイカル 又は ミネラルG		200			耕起前
ハワール5号 又は (苦土重焼燐)		40	(20)		耕起前 (基肥との同時施用も可能)
マルチサポート2号 又は けい酸加里			20		中間施用: 出穂40~45日前頃 (基肥との同時施用も可能)
セラコートR早生王			20		※ 葉色の変化が慣行とは異なるので注意する。

### ■ 除草剤【必ず使用基準を確認して使用する。箱処理剤と間違えないように注意!】

田植え後日数	移植前日数	移植後日数
初期中剤 + 中期中剤 (移植前処理)	● 初期中剤	田植えまでの止水期間(7日間)
初期中剤 + 中期中剤 (移植後処理)	● サキドリEW (1/23葉期まで)	→ 中期中剤(1キロ粒剤、フロアブル剤、ジャンボ剤)
中期中剤 (1キロ粒剤)	● ハーディ1キロ粒剤 (1/23葉期まで、但し移植後30日まで、田植え同時処理可)	● 月光1キロ粒剤 (1/23葉期まで、但し移植後30日まで、田植え同時処理可)
中期中剤 (フロアブル剤)	● パッチリ1キロ粒剤 (1/22.5葉期まで、但し移植後30日まで、田植え同時処理可)	● コメット1キロ粒剤 (1/22.5葉期まで、但し移植後30日まで、田植え同時処理可)
中期中剤 (ジャンボ剤)	● トップガンフロアブル (1/23葉期まで、但し移植後30日まで、田植え同時処理可)	● 月光フロアブル (1/23葉期まで、但し移植後30日まで、田植え同時処理可)
中・後期中剤	● パッチリジャンボ (1/22.5葉期まで、但し移植後30日まで)	● 月光ジャンボ (1/23葉期まで、但し移植後30日まで)
アオミドロ・藻類対策	● ヲククサ類、藻類	● アクシズMX1キロ粒剤 (移植後7日~1/24葉期まで、但し収穫45日前まで)
		● ハイカット1キロ粒剤 (移植後15日~1/23.5葉期まで、収穫60日前まで)
		● ヒエクリン1キロ粒剤 (移植後15日~1/24葉期まで、収穫45日前まで)
		● ワイドアタックD1キロ粒剤 (移植後15日~1/25葉期まで、但し、収穫60日前まで)

※ SU抵抗性雑草(ホタルイ草等)が確認されていますので、除草剤のローテーションをしましょう。  
※ 除草剤散布後は7日程度止水し、河川等への流出防止・水産動物の被害防止に努めましょう。

肥料農薬は全量JAへ予約しましょう。